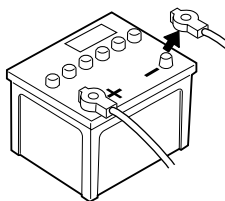
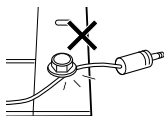


## 取り付ける前に

- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの⊖端子のコードを外しておいてください。



- 安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取付けてください。
- 取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。
- 取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。
- ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。

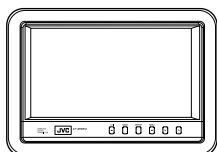


- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。
- 取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。

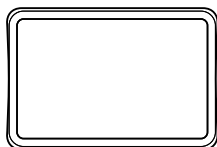
### ご注意

- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行ってください。
- 本機は、DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

## 付属品の確認



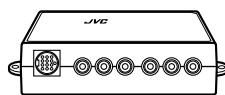
モニター  
(本体とカバー)



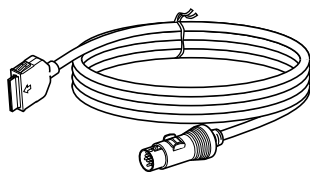
化粧プレート



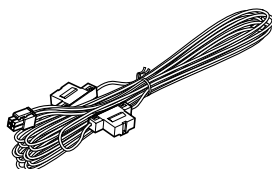
型紙



モニター接続ユニット



システムコード(3m)



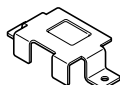
電源コード(4m)



ビデオコード(3m)



ネジ(M2 x 6mm)



コネクターカバー



プレート  
(モニターの取り外しに使用します)

# 取り付け

## モニターを取り付ける

取り付けの手順は車種によって異なります。イラストは一例です。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

外部機器の接続を終えてからモニターを固定してください。

### 別売りのヘッドレストモニタースタンド(KV-K1014)を使って取り付ける

- ・取り付けるときは、すべての部品をヘッドレストにしっかりと固定してください。
- ・ヘッドレストモニタースタンド(KV-K1014)の取扱説明書をご覧ください。

## 1 座席からヘッドレストを外し、スタンド(KV-K1014)を取り付ける

- ・スタンドの取付金具を、座席とヘッドレスト取り付け部の間に差し込むようにして固定してください。

## 2 スタンドを固定し、ヘッドレストを取り付ける

- ① スタンドのシャフト穴を調節し、ヘッドレストを取り付けます。
- ② スタンドの側面にあるネジをしめてスタンドを固定します。

## 3 アーム先端の金具にモニターを取り付け、固定する

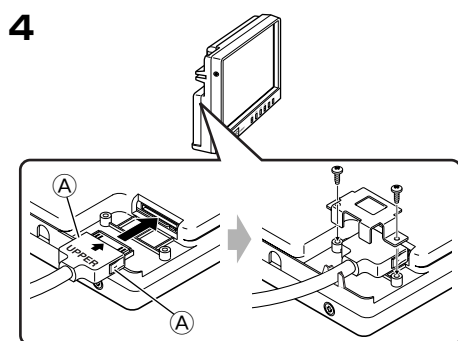
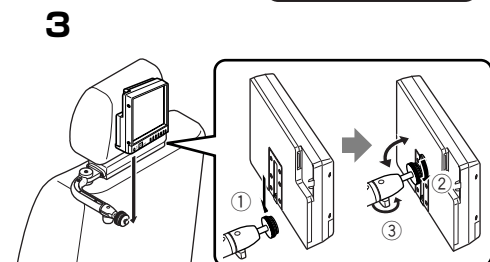
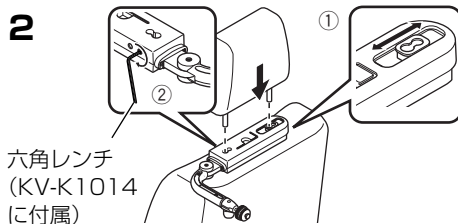
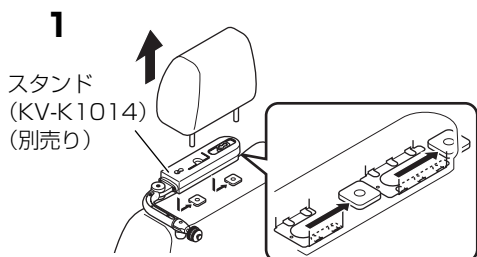
- ① アーム先端の金具にモニターを差し込みます。
- ② ネジをしめて、モニターをしっかりと固定します。
- ③ アーム先端のつまみで、モニターの取り付ける向きを調節することができます。

## 4 モニターのシステムコードを接続する

- ・システムコード接続後は必ず付属のコネクターカバーとネジで固定してください。
- ・システムコードを抜くときは、コネクターのⒶの部分を押しながらコードを引いてください。

### ご注意

システムコードを抜くときは、コードを強く引っばらないでください。コードやモニターが破損します。



## 市販品のダッシュボードモニタースタンドを使って取り付け

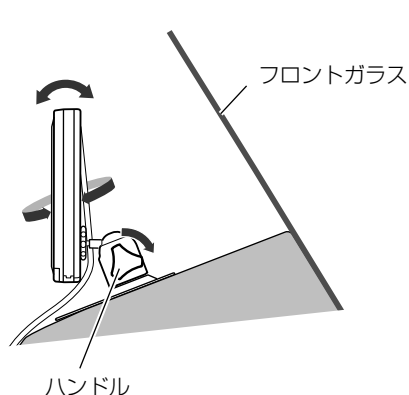
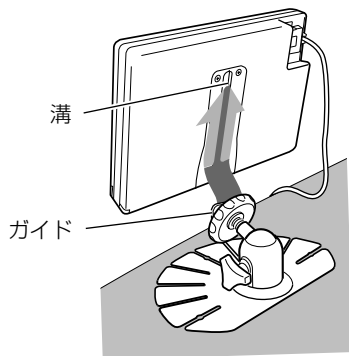
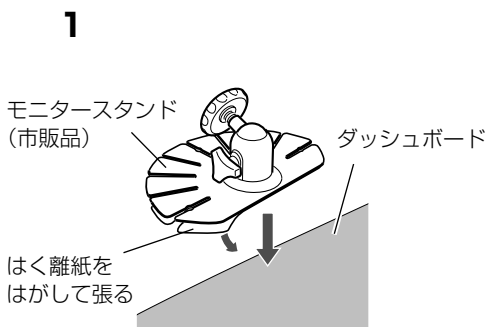
- 取り付け前にダッシュボードを乾いた布でよくふいて、汚れを落としてください。
- 取り付け前にモニターシステムのコードを接続してください(2ページの手順4をご覧ください)。
- ダッシュボードモニタースタンドの取扱説明書もご覧ください。

**1** ダッシュボードモニタースタンド(市販品)のはく離紙をはがしてダッシュボードに固定する

**2** モニタースタンドのガイドをモニター背面の溝に差し込む

**3** ダイアルを回してモニターをスタンドに固定する

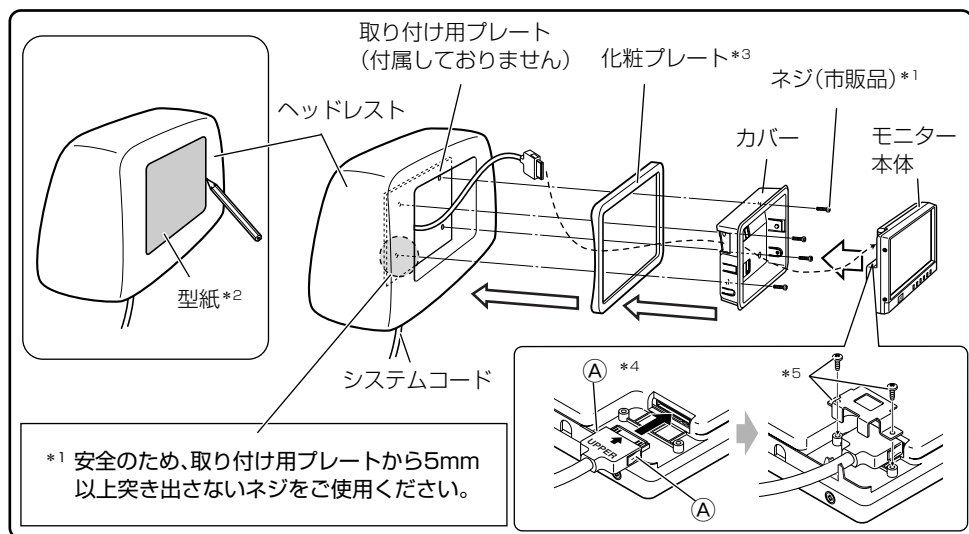
**4** モニターの角度と向きを調節し、スタンドのハンドルを回してモニターを固定する



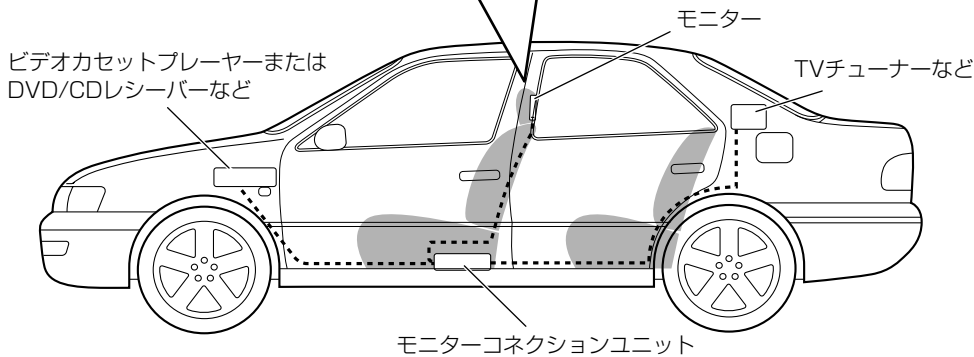
# 取り付け (つづき)

## 付属のカバーと化粧プレートを使ってヘッドレストに取り付ける

・ 特殊な取り付け方法です。付属のカバーと化粧プレートを使います。



ビデオカセットプレーヤーまたはDVD/CDレシーバーなど



\*2 モニターを取り付ける部分に型紙で印をつけて、その部分を切り取ります。

\*3 モニターをヘッドレストの表面に合わせて取り付けるときに使用します。

\*4 システムコードを抜くときは、コネクターのAの部分を押しながらコードを引いてください。

\*5 システムコード接続後は必ず付属のコネクターカバーとネジで固定してください。

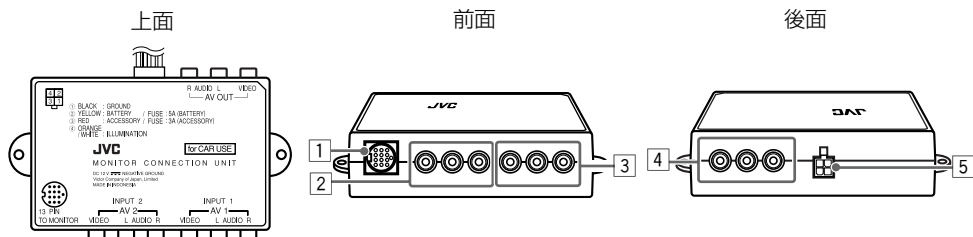
### ご注意

システムコードを抜くときは、コードを強く引っばらないでください。コードやモニターが破損します。

モニターをカバーから外すときは、7ページをご覧ください。

# 接続のしかた —必ずお読みください。—

## モニター接続ユニットについて



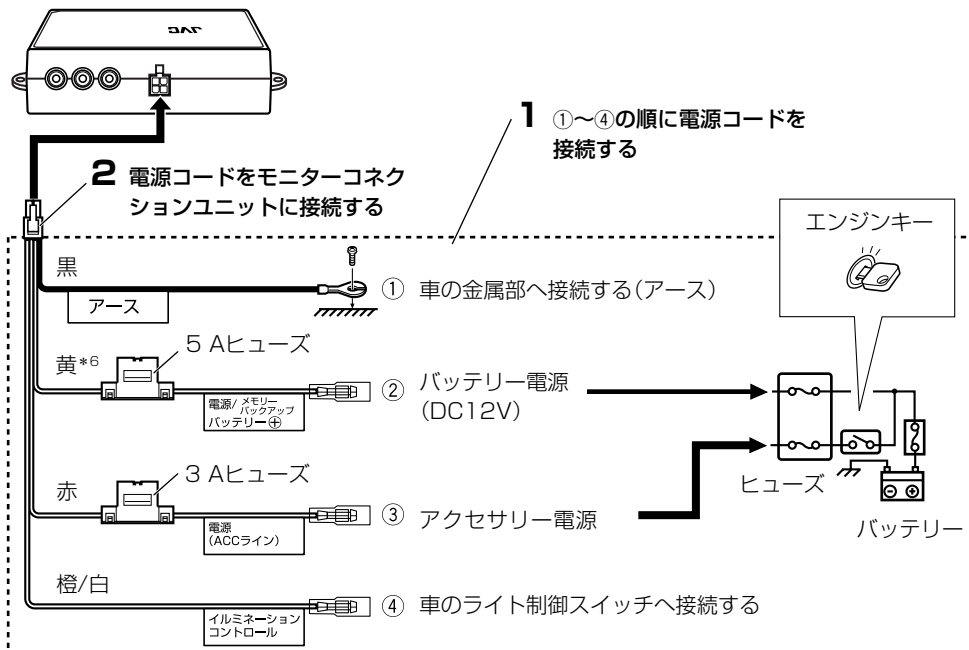
- |  |   |
|--|---|
| <p>1 <b>TO MONITOR</b>端子</p> <p>2 <b>AV2 (INPUT 2)</b>端子<br/>VIDEO/AUDIO L (左)/AUDIO R (右)</p> <p>3 <b>AV1 (INPUT 1)</b>端子<br/>VIDEO/AUDIO L (左)/AUDIO R (右)</p> | <p>4 <b>AV OUT</b>端子<br/>VIDEO/AUDIO L (左)/AUDIO R (右)</p> <p>5 <b>電源</b>端子</p> |
|--|---|

## 接続する場合

接続の前に車の配線をよく確かめてください。誤った接続は本機の故障の原因となります。

作業中のショート事故防止のため、取り付けの前に必ずバッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外しておいてください。

取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてからお使いください。



\*6 取り付ける前に動作を確認するときは、電源コードを接続してください。電源コードを接続しないと電源が入りません。

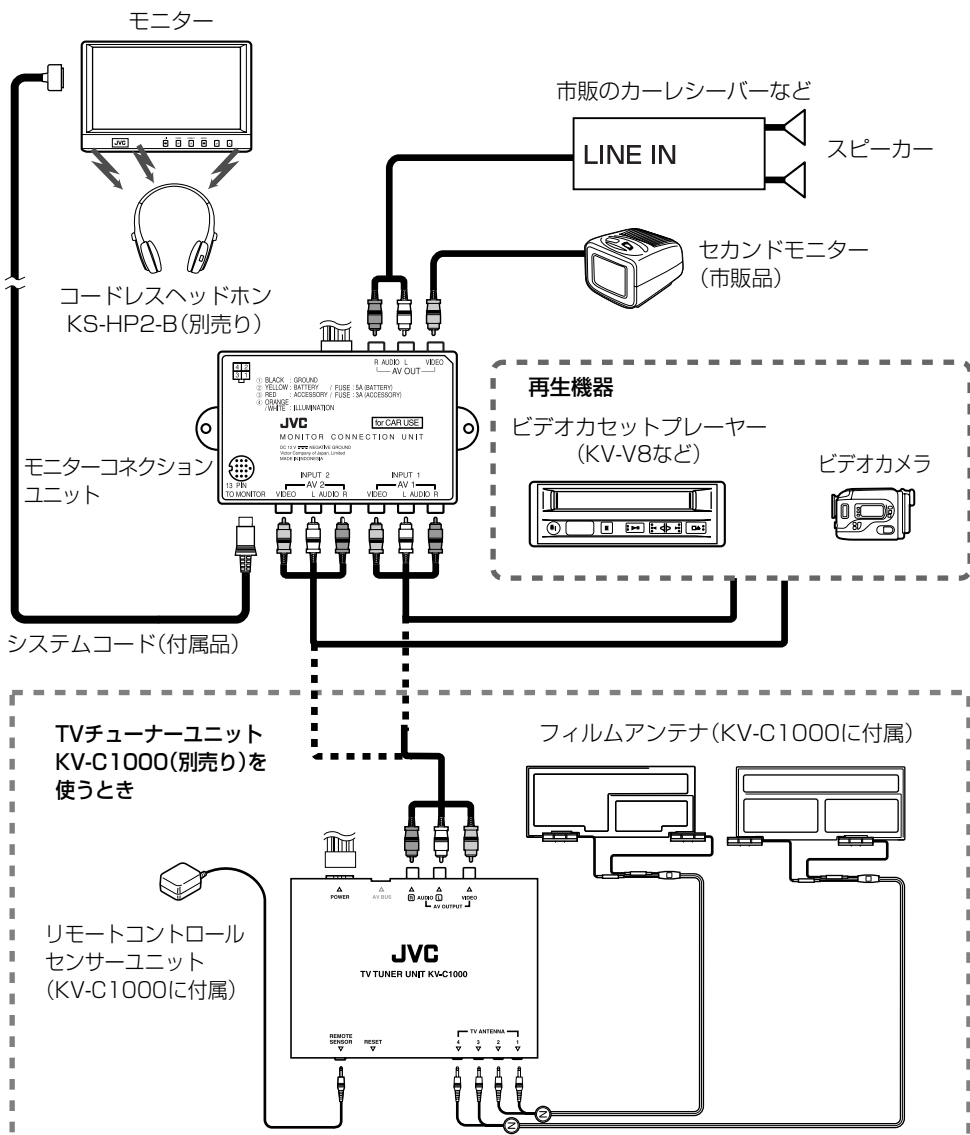
# 接続のしかた (つづき)

## 外部機器を接続する

付属のシステムコードを使ってモニターをモニターコネクションユニットのTO MONITOR端子に接続します。

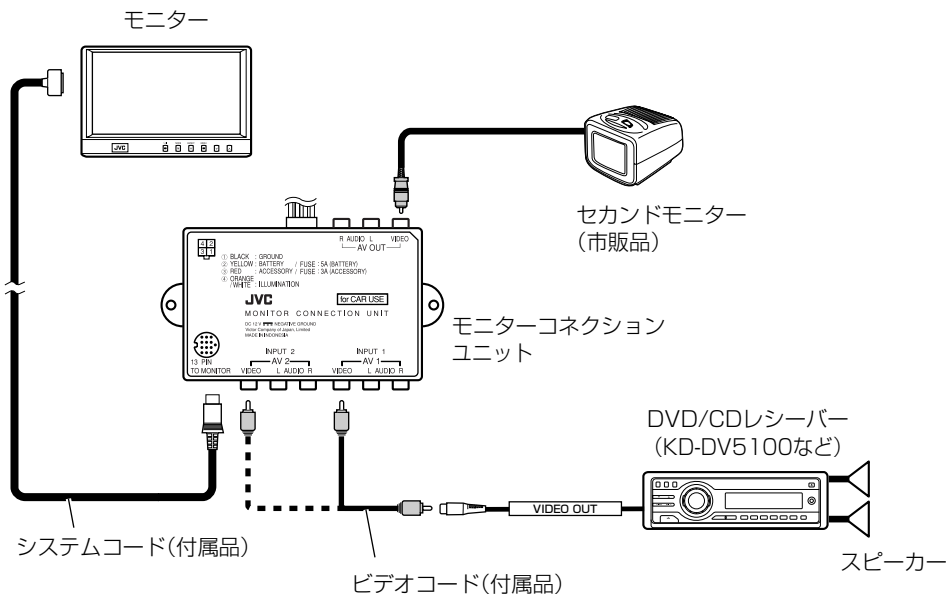
モニターコネクションユニットには2系統の入力端子と1系統の出力端子があります。AV1 (INPUT 1) 端子とAV2 (INPUT 2) 端子を使って再生機器を2台まで接続することができます。AV OUT端子には市販のカーレシーバーや別のモニター(セカンドモニター)を接続することができます。

・AV1 (INPUT 1) 端子とAV2 (INPUT 2) 端子を外部機器のLINE OUT端子やSUBWOOFER端子に接続しないでください。



DVD/CDレシーバーの映像出力端子をモニターコネクションユニットのAV1 (INPUT 1)端子またはAV2 (INPUT 2)端子の「VIDEO」に接続すると、DVD/CDレシーバーの再生映像をモニターで見ることができます。

• 音声はDVD/CDレシーバーに接続したスピーカーから聞こえます。



#### <お知らせ>

• 6.5型ワイドモニター/DVDシステム(KV-PMH661)のDVD/CDレシーバーKD-DV6100との接続は、KV-PMH661に添付の接続説明書をご覧ください。

● モニターをカバーから外す(ヘッドレストに取り付けただけの場合)

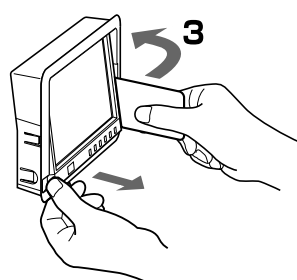
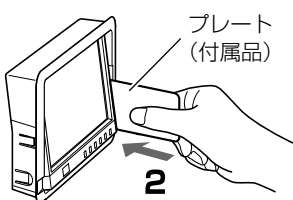
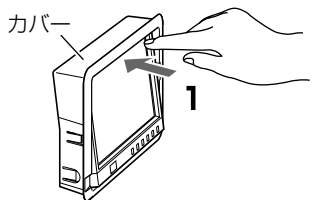
**1** モニター本体の上部を「カチッ」という音で押す

モニターの角度が変わります。

**2** モニター本体の右側とカバーの隙間に付属のプレートを差し込む

**3** 差し込んだプレートをてこにしてモニターを手前に起こす

モニターがカバーから外れます。



# 安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外す。



- ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



- リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。



- 交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施す。



- 交通事故や火災の原因となります。

取り付けやアース線を接続する場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しない。



- これらを使用しますと制動不能や発火・事故の原因となります。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない。



- エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

## 注意

本機取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



- 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 場合によっては、本機が熱くなっていることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



- 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



- 本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となることがあります。

本機を不安定なところに取り付けない。



- 正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避ける。



- 外れて事故やけがの原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



- 接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意する。



- 断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。